

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課

担当課長名：伊藤 高

事業名	スマートICアクセス補助 町道3628号線	事業区分	地方道	事業主体	静岡県小山町																							
起終点	自：静岡県駿東郡小山町字大御神 至：静岡県駿東郡小山町字用沢			延長	2.3 km																							
事業概要																												
<p>町道3628号線は、令和9年度開通予定の新東名高速道路に計画中の（仮称）小山スマートICに接続する1次アクセス道路である。</p> <p>本路線を整備することにより、町内全域における物流や交流の活性化に寄与し、救命活動の迅速化や有事の際の輸送経路としての役割が期待され、防災機能の強化にも寄与する。また、新東名及びスマートICの開設を機とした地域の変革及び活力強化を図ることができる。</p>																												
H25年度事業化	S51年度都市計画決定	H25年度用地着手		H25年度工事着手																								
全体事業費	約19億円	事業進捗率	約90%	供用済延長	km																							
計画交通量	2,800台/日																											
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">B/C</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">(事業全体) 2.9</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">(残事業)</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">13.0</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体) 2.9	(残事業)	13.0	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">総費用</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">5.3/24億円</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;"></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">事業費</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">4.0/23億円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">維持管理費</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">1.3/1.3億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)	5.3/24億円		事業費	4.0/23億円	維持管理費	1.3/1.3億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">総便益</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">69/69億円</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;"></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">走行時間短縮便益</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">51/51億円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">走行経費減少便益</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">15/15億円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">交通事故減少便益</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">2.1/2.1億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体)	69/69億円		走行時間短縮便益	51/51億円	走行経費減少便益	15/15億円	交通事故減少便益	2.1/2.1億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">基準年</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">令和5年</td> </tr> </table>	基準年	令和5年
B/C	(事業全体) 2.9																											
(残事業)	13.0																											
総費用	(残事業)/(事業全体)																											
5.3/24億円																												
事業費	4.0/23億円																											
維持管理費	1.3/1.3億円																											
総便益	(残事業)/(事業全体)																											
69/69億円																												
走行時間短縮便益	51/51億円																											
走行経費減少便益	15/15億円																											
交通事故減少便益	2.1/2.1億円																											
基準年	令和5年																											
感度分析の結果																												
<p>(事業全体)交通量: B/C=2.3~3.4(±10%) (残事業)交通量: B/C=10.5~15.6(±10%)</p> <p>事業費: B/C=2.6~3.2(±10%) 事業費: B/C=12.1~14.1(±10%)</p> <p>事業期間: B/C=2.6~3.1(±2年) 事業期間: B/C=12.2~13.8(±2年)</p>																												
事業の効果等																												
<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の御殿場ICへの一般道通行が低減し、移動時間が短縮する。 <p>②観光交流の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小山町内の主要観光施設へのアクセス向上が見込まれる。 <p>③産業振興支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物流の効率化による工業振興、企業誘致、雇用機会の創出が見込まれる。 <p>④安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次医療施設へのアクセス向上が見込まれる。 <p>⑤災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内防災拠点とのアクセス性が向上し、迅速な救援活動を支援できる。 																												
関係する地方公共団体等の意見																												
特になし																												
事業評価監視委員会の意見																												
事業継続を妥当と認める。																												
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等																												
<p>町道3628号線と接続する既設町道隣接地に宿泊施設（富士ロードウエイホテル）や観光集客施設が開業した。小山PA隣接地で、町開発事業として、小山PA周辺地区開発事業の造成工事が進められている。</p>																												
事業の進捗状況、残事業の内容等																												
用地取得率100%、事業進捗率約90%																												
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等																												
用地の取得は完了しており、新東名本線の供用開始前に側道整備を竣工させる。																												

施設の構造や工法の変更等

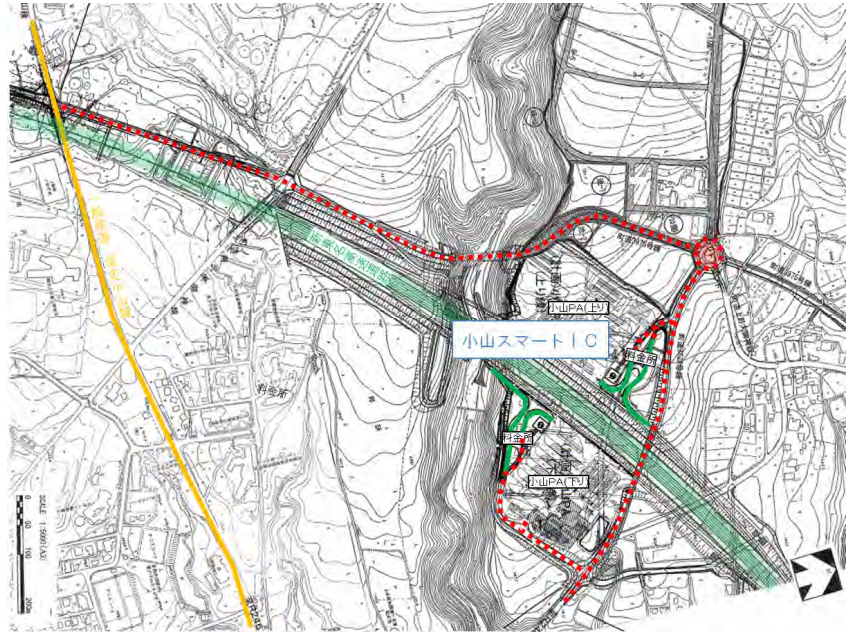
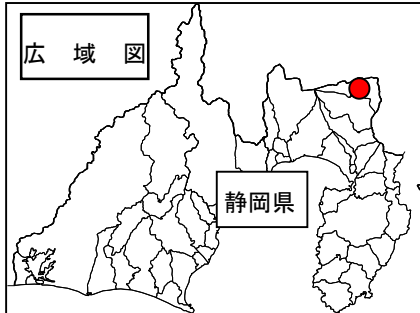
新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。

対応方針

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



町道3628号線
(上り線、下り線ランプ含む)

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。